

二酸化炭素地中貯留の岩野原実証試験基地

施設管理者 : 国際石油開発帝石(株)
施設所在地 : 新潟県長岡市
調査見学時期 : 平成 16 年 10 月 1 日
施設概要

二酸化炭素地中貯留の岩野原実証試験基地（新潟県長岡市）の見学会が 10 月 1 日（金）に開催されました。総勢 39 名の参加者は、経済産業省や NEDO 技術開発機構の方々をはじめ、主に地下センターの「九州地区における二酸化炭素排出削減の可能性調査」の業務に携わる委員や関係者が参加しました。岩野原の地中貯留プラントは、地下 1,100m の帯水層に超臨界状態の二酸化炭素を圧入（総量 1 万トンを予定）し、その挙動を把握することを目的にしています。2003 年 7 月から圧入を開始、2004 年 9 月末現在で約 8 千トンを圧入しました。現地では、実際の施設、圧入状況や二酸化炭素のタンクへの補充状況などを見学し、活発な質疑応答が交わされ、有意義な見学会となりました。岩野原基地の見学後、近郊にある天然ガスプラント（帝国石油(株)・越路原）も見学し、ボーリング掘削技術や天然ガス採取システムなどについて説明を受けました。（GECニュース第 182 号より抜粋）

